

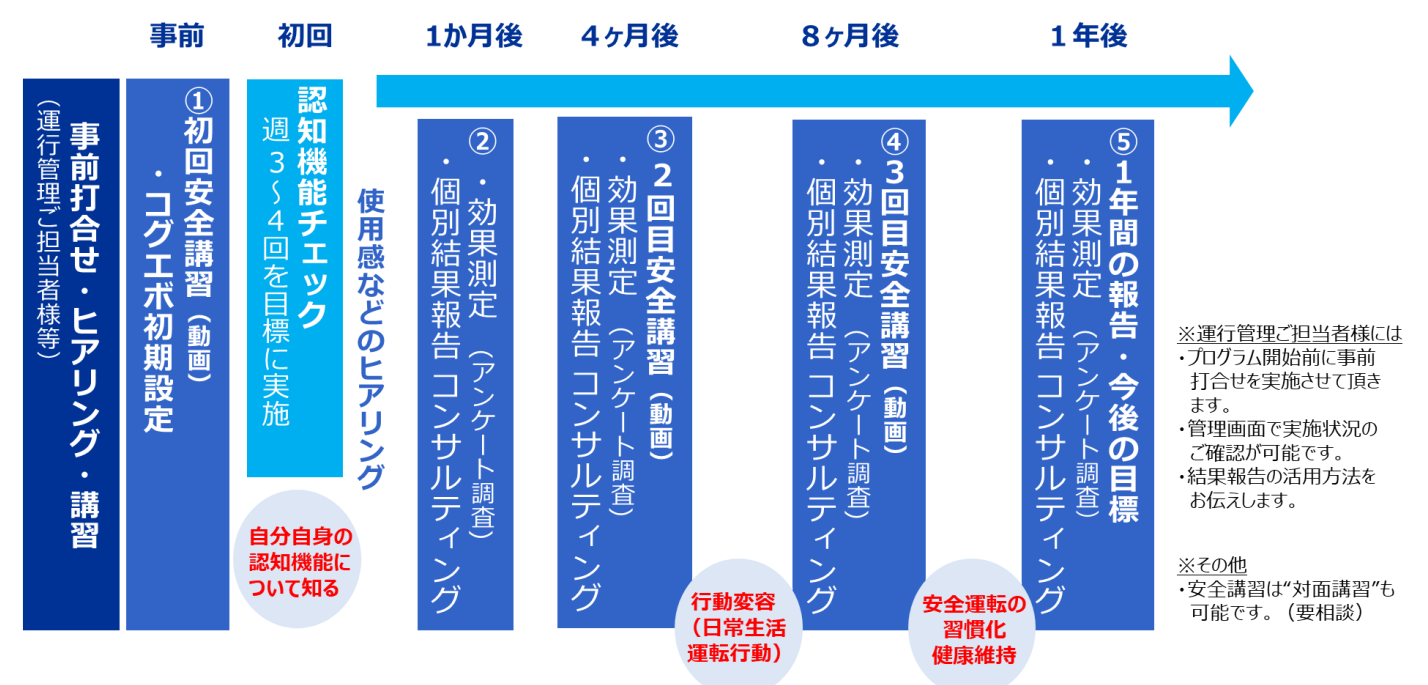
## 国土交通省認定 脳体力×安全運転の統合プログラム

- 脳体力チェック (CogEvo) 週2~3回、乗務前または休憩時に実施  
その日のコンディションを可視化
- 専門家によるWeb安全講習 3ヶ月に1回配信  
運転と脳体力の関係を深く理解
- 個別フィードバックレポート 脳体力データに基づく具体的アドバイス  
運行管理者へのコンサルティング

### MieruCAR講習 基本フロー



### MieruCAR講習 年間スケジュール (ご希望によりカスタマイズ可能)



### 導入事例

■中堅トラック運送事業者様 所在地：兵庫県 利用人数：59名

早期に疾患が見つかった  
導入後、眠気のアラート数が激減

効果・変化  
認知機能の低下が続く社員に対して、管理者が受診勧奨を行い、診察の結果、脳の疾患が確認された。社員の他の生体情報との相関もみられ、効果を実感されている。



■大手バス会社様 所在地：大阪府 利用人数：21名

ドライバー自身の気づきがあった  
行動変容が確認できた

ドライバーの声 (一部抜粋)  
・なるべく勤務前に実施し、結果を見て一日の業務に反映した  
・その日の結果が悪いときは、注意して運転した  
・脳の動きが遅いと感じるときに、周囲の動向をよく見るようにした



# 交通事故ゼロへ

## 今日の脳の調子 測れていますか？



CogEvo × MieruCAR は、このような課題をお持ちの企業様に最適です

#### プロドライバーを抱える企業様

- 軽微な擦りや接触事故を減らしたい
- 居眠り運転のリスクを早期に把握したい
- 健康起因事故を未然に防ぎたい
- ベテランドライバーに長く活躍してほしい
- 新入社員の特性を知りたい

#### 一般企業・製造業の方

- 製造現場の安全性を高めたい
- 従業員の健康経営を推進したい
- 作業前のコンディションチェックを導入したい



# 1000万件のデータが裏付ける、信頼の脳体力測定



## 認知機能チェック&トレーニング

- スマホ・タブレットで2~5分、5つの脳体力をチェック
- リハビリ専門家監修、大学・研究機関との共同研究
- 医療・介護・自治体・企業での豊富な実績
- 級数・指数・レーダーチャートで視覚的に把握
- 14種類のトレーニングで継続的な維持・向上も可能
- クラウドシステムでAPI連携が可能

## 活用シーン

- 運輸業：乗務前チェック、定期的なモニタリング
- 製造業：作業前の安全確認
- 一般企業：従業員の健康経営施策
- 自治体：高齢者の見守り支援



14のゲームを搭載



認知機能の特性を把握



経時変化をグラフで確認



# こんなこと起きていませんか？

- ちょっとした擦り・接触事故の増加
- 居眠り・ヒヤリハットの兆候
- 健康起因事故の増加傾向

## 背景に潜む要因と、企業に対する重圧

現場	企業
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドライバー不足</li> <li>• 高齢化</li> <li>• ドライバーの雇用形態の多様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全運転管理者の責務強化</li> <li>• 業務フローと体制の強化</li> <li>• 社会的責任の増加</li> <li>• 交通事故等による保険料の増加</li> </ul>

ドライバーの高齢化（トラック平均49.9歳、バス53歳、タクシー60.7歳）と人材不足により、ベテランを長く活躍させる環境づくりが急務



# 脳体力の低下と運転リスク

## 運転と脳体力（認知機能）は深くかかわっている

認知機能は年齢を問わず、飲酒、服薬、睡眠、ストレスなど様々な要因で日々変動する

- 注意力** 必要な情報に気づいて入手し、意識を集中させ持続する力
  - \* 信号や標識を見落とさない \* 対人や対物への注意を怠らない
- 記憶力** もの事を忘れずに覚えておき、必要な時に取り出す力
  - \* 行先や道順を間違えない \* 事故や困った経験を忘れない
- 見当識** 月日や時刻、自分がどこにいるか等、基本的な状況を把握する力
  - \* 予定していた時間に目的地へ着く \* 曲がる交差点を間違えない
- 空間認識力** 物体の空間に占めている状態や関係を素早く正確に把握する力
  - \* 自分の位置関係をしっかり把握している
  - \* 適切な車間距離を保つ \* 周囲との間隔を把握したバック駐車
- 計画力** 状況を予測し適切な計画を考え遂行する力
  - \* カーナビゲーションシステムを使いこなしている
  - \* 予定が変わったり、経路が通行不可になった場合も素早く判断できる

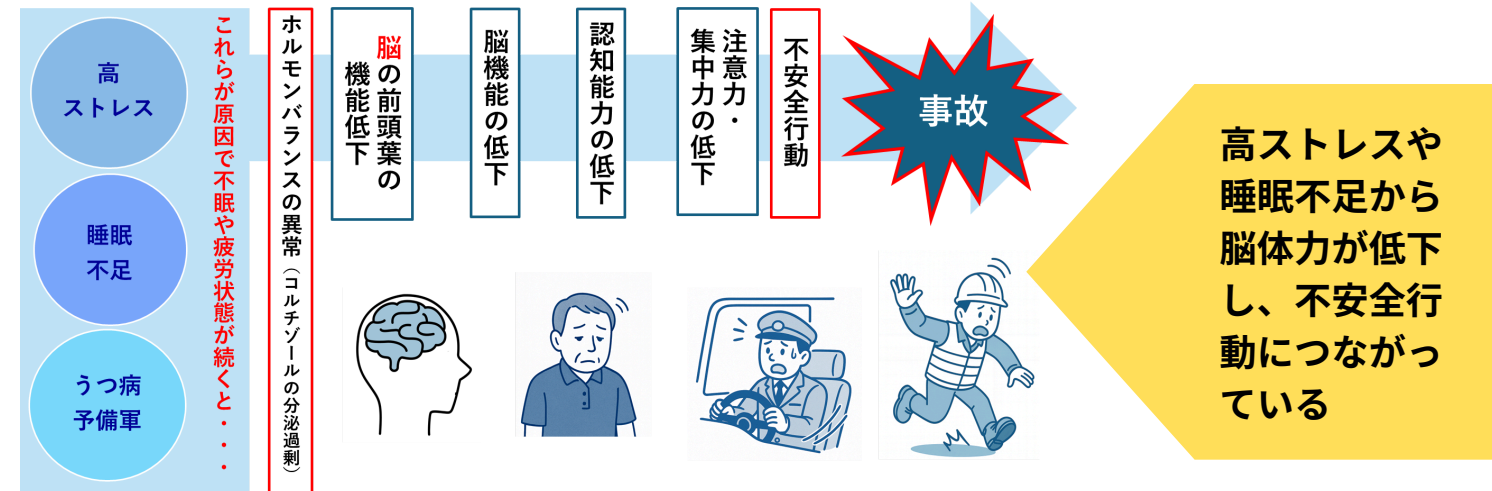


参考資料：京都府立医科大学 成本 迅教授



# 脳体力の視点で、安全運転を見直す

ストレス・不眠・うつ と不安全行動との関係



本参考文献 独立行政法人労働者健康安全機構 産業保健21 2018.10 第94号p9



# 脳体力に着目した安全運転講習を実現

- 早期発見：疾病や体調変化を事故前に把握
- 行動変容：ドライバー自身の気づきで生活改善
- やりやすさ：スマホだけで完結、特別な機器不要

